

古典的なクローニング(受精卵クローン)

動物の一卵性双生子: 受精卵の発生過程で、偶然に2つの部分に分かれて発達したために2個体が形成された

一卵性双生児は簡単な発生工学の技術で作り出せる

受精卵を毛細ガラス針や微小なメスなどで2つに切断し、1つずつを借り腹雌(レシピエント)の子宮内へ移植

ウマ、ウシ、ブタ、ヤギ、ヒツジ、ウサギ、ラット、マウス

ヒツジやウシでは1個の初期胚の8分割まで可能

何故？

- ① 発生のある時期までは**未分化な状態(全能性)**を保つ
- ② 一部分の細胞が失われても、残りの細胞がその欠落を補償し、その後の発達を「**調整**」する能力がある

